



Infor LN 遡及請求ユーザガイド

重要事項

本書に含まれる資料（あらゆる補足情報を含む）は、Inforの機密及び専有情報に相当し、かつそれを含むものです。

添付を使用するにあたり、使用者は、当該資料（当該資料のあらゆる修正、翻訳または翻案を含む）、すべての著作権、企業秘密、及びそれに関係するすべてのその他権利、権原及び利益はInforが独占所有するものであり、使用者には、別の契約（この別契約の契約条項によって、貴社の当該資料及びすべての関連する補足情報の使用が規定されます）に基づいてInforより貴社に使用許諾されたソフトウェアに関連し、またその使用を促進することのみを目的（以下、「目的」という）として、当該資料を使用するための非独占的権利以外、使用者の閲覧に基づく権利、権原及び利益（すべての修正、翻訳または翻案を含む）は付与されるものではないことを認識し、それに同意するものとします。

更に、同封の資料を使用するにあたり、使用者は、使用者が当該資料を極秘扱いで保管しなければならないこと、そして使用者の当該資料の使用は上述の「目的」に限定されることを認識し、それに同意するものとします。Inforは、本書に含まれる内容に誤りや洩れがないよう細心の注意を払っていますが、本書に含まれる内容が完全なもので、誤植やその他の誤りがなく、使用者の個別の要望を満たすことは保証しません。したがって、Inforは、本書（あらゆる補足情報を含む）の誤りまたは不備により、またはそれに関連して生じたあらゆる個人または団体に対する、あらゆる間接的または直接的損失または損害について、その誤りまたは不備が過失、事故またはその他の理由によるものであるかどうかにかかわらず、一切の責任を負わず、かつそれを放棄するものとします。

使用者の本資料の使用は、米国輸出管理法及びその他に限定しない輸出入の適用法に準拠するものとし、使用者は、本資料及びあらゆる関係資料または補足情報を当該法律に違反して、直接的または間接的に輸出または再輸出してはならず、またこれらの資料を当該法律により禁止されるいかなる目的にも使用してはなりません。

商標確認

ここに示す文字標章及び図形標章は、Infor及び/またはその関連会社ならびに子会社の商標または登録商標、あるいはその両方です。無断複製・転載を禁ず。参照されるすべての他の社名、製品名、商標名またはサービス名は各所有者の登録商標または商標です。

発行情報

文書コード	salesretroug (U9840)
リリース	10.5.1 (10.5.1)
発行日	2017 年 12 月 19 日

目次

文書情報

第1章	7
販売での遡及請求.....	7
遡及請求マスターデータ.....	7
遡及請求手順.....	7
第2章	9
調達での遡及請求.....	9
遡及請求マスターデータ.....	9
マニュアル価格変更の遡及請求.....	9
契約価格変更の遡及請求.....	10
変更要求を使用した価格変更の遡及請求.....	10
付録A 用語集.....	13
索引	

文書情報

この文書では、遡及請求を設定して処理する手順を説明します。遡及請求は、販売と調達の新着価格に基づいて、販売と調達で以前に請求した品目を再請求するために使用されます。

前提とする知識

このガイドを読む上で、LN ソフトウェアに関する詳細な知識は不要ですが、Infor LN の機能の一般知識があるとそのガイドの理解に役立ちます。

本書の概要

次の表にこのガイドの各章を示します。

章番号	章タイトル
第 1 章	販売での遡及請求
第 2 章	調達での遡及請求

参照

このガイドは、遡及請求の第 1 の参照先として使用します。このガイドで説明されていない情報を調べるには、次の関連参照先の最新版を使用してください。

- 販売マスタデータユーザガイド U9839 JA
販売マスタデータの設定を理解するために使用します。
- 販売契約ユーザガイド U9844 JA
販売契約手順を理解するために使用します。
- 販売オーダーユーザガイド U9845 JA
販売オーダー手順を理解するために使用します。
- 購買マスタデータユーザガイド U9817 JA
購買マスタデータの設定を理解するために使用します。
- 購買と販売スケジュールユーザガイド U9822 JA
購買契約手順を理解するために使用します。
- 購買オーダーユーザガイド U9824 JA
購買オーダー手順を理解するために使用します。
- 購買と販売スケジュールユーザガイド U9541 JA
購買と販売スケジュール手順を理解するために使用します。
- 価格設定ユーザガイド U9179 JA
価格設定機能を理解するために使用します。

本書の使い方

本書はオンラインヘルプトピックから作成されたものです。そのため、以下の例のようにその他のセクションへの参照が示してあります。

詳細は、「概要」を参照してください。参照セクションを見つけるには、本書の目次または巻末の索引を参照してください。

下線の付いた用語は、用語集の定義へのリンクが付いていることを示しています。本書をオンラインで表示する場合は、下線の付いた用語をクリックすると、本書の巻末にある用語集の定義に移動します。

コメント

弊社は常に文書の見直しや改善を行っていますが、この文書に関するご意見、ご要望などありましたら、documentation@infor.com にご連絡ください。

送信の際には文書番号およびタイトルを明記してください。情報が具体的であるほど迅速な対応が可能です。

Infor へのお問い合わせ

Infor 製品に関するお問い合わせは、Infor Xtreme Support ポータル www.infor.com/inforxtreme をご利用ください。

製品リリースに関する更新情報は、この Web サイトに掲載いたします。このサイトを定期的にご確認ください。

Infor ドキュメントに関するご質問・ご意見は、documentation@infor.com までご連絡くださいますようお願いいたします。

販売での遡及請求

再交渉により価格変更を販売契約や品目に行う場合、遡及請求機能を使用して、販売オーダーやスケジュールに従い以前に請求した品目を請求し直すことができます。価格差額は、品目数量が0でオーダー額に価格差額が含まれる遡及請求された販売オーダーを介して処理されます。

遡及請求マスタデータ

遡及請求を設定するには、次の操作を実行します。

1. 販売オーダータイプ (tdsls0594m000) セッションで遡及請求の販売オーダータイプを指定します。
2. 販売オーダーパラメータ (tdsls0100s400) セッションで、次のフィールドを指定します。
 - [遡及請求導入]
 - [オーダータイプ遡及請求]
 - [遡及請求原価/サービス]
 - [遡及請求番号グループ]
 - [番号グループの更新]
 - [遡及請求勧告の生成日]
3. 品目 - 販売取引先 (tdisa0510m000) セッションで、次のフィールドを指定します。
 - [遡及請求適用品目]
 - [取引先別遡及請求販売オーダー]

遡及請求手順

遡及請求された販売オーダーの品目数量はゼロで、オーダー金額には価格差額が含まれます。

遡及請求された販売オーダーを生成するには、次の操作を実行します。

1. 遡及請求価格変更勧告の生成 (tdsls3270d000) セッションで価格変更勧告を生成します。このセッションは、次のように開始できます。
 - 契約の価格変更が行われたときに自動的に開始
 - 変更された品目価格の価格変更勧告を生成するためにマニュアルで開始

備考

- 遡及請求価格変更勧告の生成 (tdsls3270d000) セッションで、マニュアルで価格変更 (割合または固定値) を指定する必要があります。この価格変更は、その後、販売オーダー、販売スケジュール、または出荷の指定された範囲に適用されます。
 - 生成された価格変更勧告ヘッダ情報は、遡及請求価格変更勧告 (tdsls3570d000) セッションに表示されます。価格変更勧告ライン情報は、遡及請求価格変更勧告ライン (tdsls3571d000) セッションに表示されます。価格変更勧告ラインの情報は、ラインを承認する前に変更または削除できます。
2. 遡及請求価格変更の承認 (tdsls3275d000) セッションで価格変更勧告を承認します。このセッションは、遡及請求価格変更勧告ライン (tdsls3571d000) セッションの適切なメニューから開始できます。
 3. 遡及請求販売オーダーの生成 (tdsls3271d000) セッションで遡及販売オーダーを生成します。このセッションは、遡及請求価格変更勧告ライン (tdsls3571d000) セッションの適切なメニューから開始できます。販売契約を新規価格で更新するには、遡及請求販売オーダーの生成 (tdsls3271d000) セッションの [契約を新価格で更新] チェックボックスをオンにします。
 4. 価格差額について遡及請求された販売オーダーを請求するには、標準の請求手順を使用します。

注意

リンクオーダーラインデータ (tdsls4102s200) セッションで遡及請求された販売オーダーのオリジナル請求ラインが表示されます。この情報は請求へ発行され、請求書に使用されます。

調達での遡及請求

購買契約や品目の価格を再交渉により修正した場合、遡及請求の機能を使用して、以前に請求した購買オーダーまたはスケジュールの品目を再請求できます。価格の相違点は、オーダーまたはスケジュールの購買買掛入庫に基づく価格変更勧告ラインを使用して処理します。価格変更勧告ラインの承認および処理後、オーダーまたはスケジュールに追加の (遡及処理) 買掛入庫ラインが生成されます。

遡及請求マスタデータ

遡及請求を設定するには、次の操作を実行します。

1. 購買パラメータ (tdpur0100m000) セッションで、次のフィールドを指定します。
 - [遡及請求導入]
 - [遡及請求勧告番号グループ]
 - [勧告シリーズ]
 - [遡及請求原価/サービス]
 - [遡及請求勧告の生成日]
2. 購買元取引先 (tccom4520m000) セッションで、(オプションで) [遡及請求適用可能] チェックボックスをオンにします。
3. 品目 - 購買取引先 (tdipu0110m000) セッションの [遡及請求適用品目] チェックボックスをオンにします。

マニュアル価格変更の遡及請求

マニュアル価格変更を遡及請求するには:

1. 遡及請求価格変更勧告 (tdpur3670m000) セッションで価格変更勧告を指定します。更新タイプ ([割合] または [値]) と価格変更を適用する必要がある選択範囲を指定します。
2. 遡及請求価格変更勧告 (tdpur3670m000) セッションの [生成] をクリックし、購買オーダー、スケジュール、または入庫の指定された範囲に価格変更勧告ラインを生成します。輸入仕入原価ラインが使用可能な場合は、それらのラインも生成処理に含めます。価格変更勧告ライン情報は、通知ラインタブに表示されます。価格変更勧告ラインの情報は、ラインを承認する前に修正または削除できます。

3. 適用可能なセッションで価格変更勧告(ライン)を直接承認するか、遡及請求価格変更勧告の承認 (tdpur3270m100) セッションを使用します。
4. 適用可能なセッションで価格変更勧告(ライン)を直接処理するか、遡及請求価格変更勧告の処理 (tdpur3270m200) セッションを使用します。処理後に、請求可能な [遡及処理] 買掛入庫が生成されます。買掛入庫が、購買買掛入庫 (tdpur4130m000) セッションおよびスケジュールの購買買掛入庫 (tdpur3118m000) セッションに表示されます。
5. 購買請求書の照合/承認 (tfacp2107m000) または購買請求書入力 (tfacp2600m000) セッションでオーダまたはスケジュールを選択し、適切なメニューで [遡及ラインの照合] をクリックして、遡及ラインの照合 (tfacp2544m100) セッションでラインを照合します。輸入仕入原価ラインが勧告ラインにリンクされている場合は、[遡及輸入仕入原価の照合] をクリックして、遡及輸入仕入原価ラインの照合 (tfacp2144m000) セッションでそれらのラインを照合します。
6. 購買請求書の照合/承認 (tfacp2107m000) セッションまたは購買請求書入力 (tfacp2600m000) セッションで請求書を承認します。これにより、価格変更勧告の状況が [すべて承認済] に設定されます。
7. 購買オーダは納入済購買オーダの処理 (tdpur4223m000) セッションで処理し、購買スケジュールは購買スケジュールの処理 (tdpur3223m000) セッションで処理します。これにより、価格変更勧告の状況が [ファイナライズ済] に設定されます。

注意

遡及請求価格変更勧告の削除 (tdpur3270m300) セッションで状況が [未決済] または [ファイナライズ済] の価格変更勧告および勧告ラインは削除できます。

契約価格変更の遡及請求

リンク済みの購買オーダまたはスケジュールの契約価格変更を遡及請求するには:

1. 価格または値引の変更を指定し、購買契約価格 (tdpur3103m000) セッションの [遡及請求用に選択] チェックボックスをオンにします。
2. 契約を(再度)有効化します。これにより、遡及請求価格変更勧告の生成 (tdpur3270m000) セッションが開始されます。
3. 選択基準を指定し、遡及請求価格変更勧告の生成 (tdpur3270m000) セッションで、[生成] をクリックします。
4. 生成された価格変更勧告を遡及請求価格変更勧告 (tdpur3670m000) セッションで表示します。この価格変更勧告の [更新タイプ] フィールドが [契約価格改訂] に設定されています。
5. マニュアル価格変更の遡及請求のセクションに記載されている3から7のステップを実行します。

注意

契約価格変更が ION Workflow を使用して承認されている場合は、価格変更勧告ラインが自動的に生成されます。遡及請求価格変更勧告の生成 (tdpur3270m000) セッションは開始されません。

変更要求を使用した価格変更の遡及請求

変更要求を使用して、購買オーダおよび購買契約を更新する場合、遡及請求は変更要求を使用した場合にのみ開始できます。

請求済または処理済購買オーダーの価格または値引変更を指定するには:

1. 購買変更要求買掛在庫 (tdpur4130m100) セッションまたは輸入仕入原価ライン (tclct2100m010) セッションで価格または値引を更新します。
2. 遡及請求価格変更勧告 (tdpur3670m000) セッションで価格変更勧告を生成する変更要求を承認および処理します。この価格変更勧告の [更新タイプ] フィールドが [変更要求] に設定され、[状況] フィールドが [承認済] に設定されます。
3. マニュアル価格変更の遡及請求のセクションに記載されている 4 から 7 のステップを実行します。

購買契約の価格または値引変更を指定するには:

1. 購買契約変更要求価格 (tdpur3103m100) セッションの 価格改定 を無効化します。
2. 価格または値引を更新し、購買契約変更要求価格 (tdpur3103m100) セッションの [遡及請求用に選択] チェックボックスをオンにします。
3. 購買契約変更要求価格 (tdpur3103m100) セッションの変更された価格改定を有効化します。
4. 変更要求を承認して処理します。これにより、遡及請求価格変更勧告の生成 (tdpur3270m000) セッションが開始されます。
5. 選択基準を指定し、遡及請求価格変更勧告の生成 (tdpur3270m000) セッションで、[生成] をクリックします。
6. 生成された価格変更勧告を遡及請求価格変更勧告 (tdpur3670m000) セッションで表示します。この価格変更勧告の [更新タイプ] フィールドが [契約価格改訂] に設定されています。
7. マニュアル価格変更の遡及請求のセクションに記載されている 3 から 7 のステップを実行します。

注意

購買契約パラメータ (tdpur0100m300) セッションの [購買契約変更要求の自動処理] チェックボックスがオンの場合、または変更要求が ION Workflow を使用して承認されている場合は、価格変更勧告ラインが自動的に生成されます。遡及請求価格変更勧告の生成 (tdpur3270m000) セッションは開始されません。

適切なメニュー

コマンドは、[表示]、[参照]、および [アクション] メニューに分散されているか、ボタンとして表示されます。旧リリースの LN および Web UI では、これらのコマンドは [特定] メニューに配置されます。

遡及請求

前に請求済の品目について、価格の再交渉に基づいて貸方または借方請求書を発行する処理。契約または個別のオーダやスケジュールにリンクされたオーダまたはスケジュールに対して遡及請求を実行できます。

同義語: 遡及請求

遡及請求

次を参照してください: 遡及請求 (ページ 13)

変更要求

実際伝票の調整案を含んだ変更伝票。変更要求は、実際伝票からコピーされ、さらに実際伝票にリンクされます。変更要求が承認され処理されると、変更が実際伝票に適用されます。

契約価格改訂

購買契約ラインの価格要素および値引要素についての、日付管理された合意。価格改訂を使用すると、長期にわたって複数の価格を有することができます。有効な改訂は、発効日から次の改訂の発効日まで、または契約ラインの有効期限まで有効です。

購買の買掛入庫

請求がいつ購買商品に適用されるかを示し、オーダまたはスケジュールの買掛および請求明細が含まれています。購買買掛入庫を使用して、買掛金モジュールとの間の更新が処理されます。

購買商品の支払が [使用払] に設定されている場合、購買オーダまたは購買スケジュールに関連する在庫が消費されたとき、つまり倉庫から出庫されたときに買掛入庫が生成されます。支払が [貨物引換払] に設定されている場合、購買商品が入庫した時点で買掛入庫が生成されます。

索引

適切なメニュー, 13
遡及請求, 13
 調達, 9
 販売, 7
変更要求, 13
契約価格改訂, 13
購買の買掛在庫, 13
